

技術の頂点へ

再び

INDEX

- 1...総論
- 2...政府の施策
- 3...電機・電子部品
- 4...造船・鉄道
- 5...情報通信
- 6...化学・住宅
- 7...流通・繊維
- 8...環境・中小企業

第一原子力発電所事故による経営環境の悪化を踏まえ、大口需要家に続き、家庭向け電力料金の引き上げに踏み切る。電力利用を巡るさまざまな問題は、日本の国民生活や産業に多大な影響を及ぼすことは間違いない。しかし、一方で技術で課題を解決しようという取り組みも活発になっていく。電力利用を常時監視し、設備やエアコンの

省エネ・節電で最先端

日本は今夏、電力問題で大きな試練に直面する。全国全ての原子力発電所が停止し、関西をはじめ多くの地域で、電力供給量が夏のピーク時需要量に追いつかない事態も予想される。政府は需給ひっ迫地域に対して大幅な節電を要請するが、猛暑が続けば計画停電も避けられない情勢となっている。

また、東京電力は福島第一原子力発電所事故から、太陽光発電に拡大することが期待されている。かつて日本は太陽光発電や発光ダイオード(LED)ビジネスで世界トップに立っていた。それが欧州メーカーや新興国メーカーに取って代わられた。技術ではトップを走っていたが、コストで太刀打ちできないことが、世界市場で立ち遅れる要因ともなった。

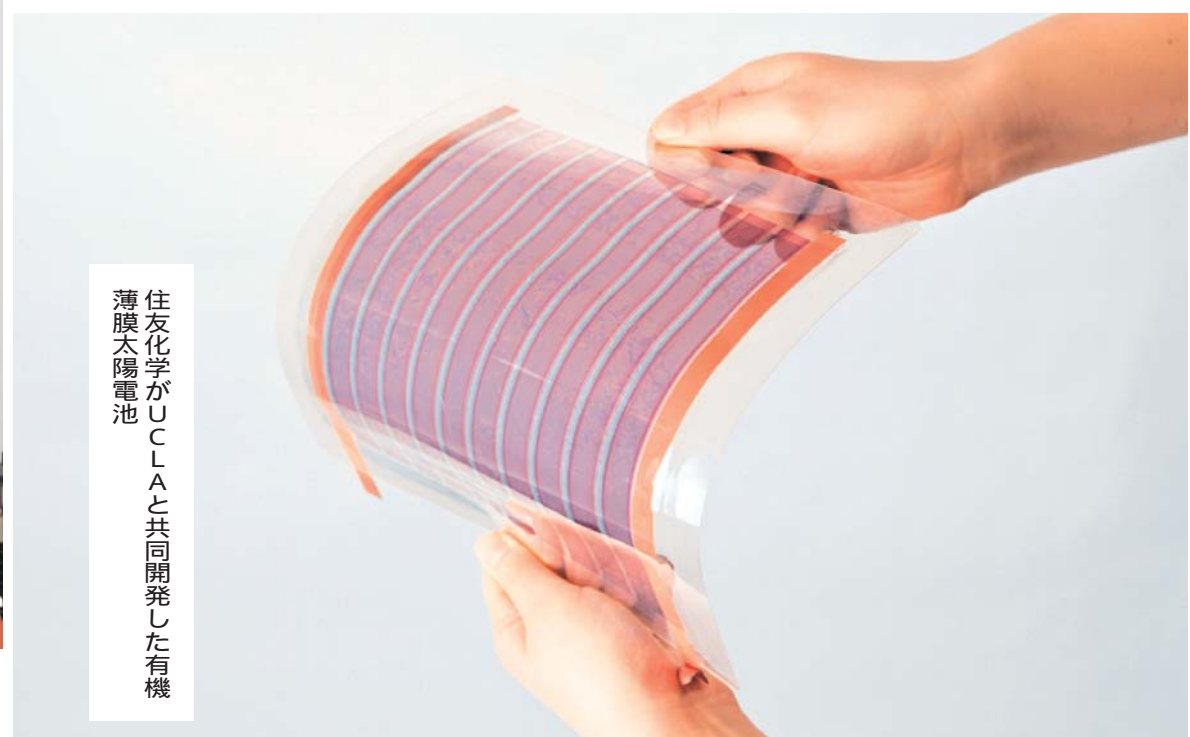
ドイツは政府が太陽光発電による電力買い取り価格を高めるに設定する政



空気を冷媒に活用した前川製作所の冷凍システム。電力使用量を3割削減できる



東京スカイツリーは太陽光発電、LED照明、エレベーターなど最高水準の省エネ技術が採用されている



住友化学がUCLと共同開発した有機薄膜太陽電池



IHIが開発した手のひらサイズの超小型ガスタービン発電機

たくましい、明日へ。

地球の未来は、私たちの未来。

その豊かな環境がくれる恩恵は

すべての生命と繋がっています。

私たち伊藤忠商事は

この美しい地球を守り、育みながら、
希望と生命力にあふれた、次なる豊かさ、
たくましい明日を咲かせていきます。

豊かさを担う責任

ITOCHU

伊藤忠商事株式会社
www.itochu.co.jp